

○日本離床学会主催 教育講座

臨床での「動き方」シリーズ

人工呼吸器患者の早期離床 離床・呼吸リハ編

日時：2025年3月19日（水）19：00～21：00

会場：インターネット生ライブ中継

講師：吉永 龍史 先生（長崎医療センター）

受講料：一般 6,400 円（税込） 会員 5,400 円（税込）

内容：この講座では、人工呼吸器装着患者さんの座位・立位・歩行などの進め方と留意点を徹底解説。さらに、抜管後の呼吸機能を最大限回復に導くための、呼吸リハビリの実践についても学びます。

～ 呼吸の改善を器械任せにしない！明日からできる離床・リハビリの具体策 ～

1. 人工呼吸器患者さんの離床が進まなくて困った

➡経験ゼロでも OK！介入を促進するための3ポイント

2. チューブが付いている状況での介助法がわからず困った

➡ヘッドアップ・座位の進め方～絶妙なライン類のさばき方～

3. 状態悪化が怖くて困った

➡離床時にみるべきパラメータはココ！アグレッシブな動き特有のアセスメントポイント

4. デバイス管理と患者さんの介助が大変で困った

➡人工呼吸器装着中の歩行練習の行い方～八方に気を遣うチームアプローチの極意～

5. 自発呼吸が出て苦しそうで困った

➡離床前の覚醒時に気づくべきこと・設定変更のキモとは

6. 呼吸リハビリは何をすべきかわからず困った

➡挿管中から始めて効果増大！吸気・呼気筋トレーニングの実践

7. 抜管後に嚥下障害が生じて困った

➡ADL アップの分かれ道！マークすべき ICU-ASD の病態と対策3選

申込み：ホームページよりオンラインで申込み

HP：<https://www.rishou.org/>

問合せ：日本離床学会事務局 TEL：03-3556-5585

○日本離床学会主催 教育講座

臨床のギモンをエビデンスで斬る！

股関節 OA に対するエッジの効いたリハアプローチ

日時：2025年3月20日（木・祝）10：00～16：00

会場：インターネット生ライブ中継

講師：海津 陽一 先生（日高リハビリテーション病院）

受講料：一般 12,800 円（税込） 会員 9,800 円（税込）

内容：この講座では、SNS で有名なインフルエンサー海津先生が、股関節 OA の保存療法・人工股関節全置換術でよく困る臨床のギモンを取り上げ、エビデンスを基にした最良の介

入法をズバリ解説。

1.股関節 OA のリハで問題になる股関節不安定性とは？

➡股関節不安定性の定義・診断基準、股関節 OA との関連

2.問診、障害像の全体的把握する評価とは？

➡変形性股関節症の重症度評価のコツ ～JOA HIP score・JHEQ ほか～

3.股関節 OA のレントゲン画像評価は何を読んで解釈すべきか

➡脚長差のレントゲン画像の読影法

4.推奨されるパフォーマンステストとは？

➡ここが押さえどころ！パフォーマンステストにおける APTA と OARSI の推奨事項と測定特性

5.基本動作 立ち上がり、階段昇降の特徴とは？

➡変形性股関節症者の立ち上がり動作、階段昇降のバイオメカニクス

6.保存療法、術後それぞれに最も有用なりハビリ法は何か？

➡保存 身体活動量を最適化！ 進行予防につなげる歩行練習の使い分け

➡術後 THA 術後の侵襲筋を意識した術式別アプローチと関節 Kinematics

7.関節可動域制限に対するリハビリテーションとその効果とは？

➡股関節の関節可動域の最終可動域と制限因子

8.患者教育の方法とその効果とは？

➡脱臼予防/疼痛の神経生理学的教育/ホームエクササイズ的具体策

申込み：ホームページよりオンラインで申込み

HP：<https://www.rishou.org/>

問合せ：日本離床学会事務局 TEL：03-3556-5585

○日本離床学会主催 教育講座

「聴いたことある」から「アプローチできる」へ！ゼロからわかる筋膜アプローチ講座  
～基礎知識から臨床での実践法まで～

日時：2025年4月12日（土）10：00～16：10

会場：インターネット生ライブ中継

講師：人見 里絵 先生（Rolf Release 代表 理学療法士）

受講料：一般 12,800 円（税込） 会員 9,800 円（税込）

内容：聴いたことはあるけれど「筋膜とは何なのか」「どこの部位なのか」「エビデンスはあるのか」など、疑問を持ったまま止まっていますか？この講座では筋膜の基礎的な知識から臨床での筋膜アプローチ方法について徹底解説。

1.基礎・エビデンス編

・そもそも筋膜とは？ ～膜と筋膜・筋膜ネットワーク～

・第二の骨格としての筋膜

～骨ではなく膜が身体を支えている？ テンセグリティー理論～ 他

2.動作と筋膜の関係編

- ・筋膜の力伝達 ～アナトミートレインを例とした筋膜の連続性について～
- ・伝達器官としての筋膜 ～存在する多数の固有感覚器官に着目すべき理由～ 他

### 3.筋膜アセスメント編

- ・アウェアネスについて ～筋膜に触れる前に準備すべきこと～
- ・筋膜の評価 ～筋膜とその周辺組織のみかた～ 他

### 4.基本技術編

- ・まずは筋膜の動きを感じてみよう ～筋膜アプローチの基本手技～
- ・筋膜のよじれ・ねじれを解きほぐす技 ～伸張・圧迫・呼吸法～ 他

### 5.筋膜アプローチ編

- ・離床の動作をスムーズに変える！ハムストリングスに対する筋膜アプローチ
- ・膝痛に効く！臀部外側から TFL・下腿外側までの筋膜リリース 他

申込み：ホームページよりオンラインで申込み

HP：<https://www.rishou.org/>

問合せ：日本離床学会事務局 TEL：03-3556-5585

○日本離床学会主催 教育講座

臨床での“動き方”シリーズ 脳卒中編

2時間で確実に身につく脳卒中の離床・リハビリ戦略

Pusher / Lateropulsion 編

日時：2025年4月15日（火）19：00～21：00

会場：インターネット生ライブ中継

講師：深田 和浩 先生（東京都立大学）

受講料：一般 6,400 円（税込） 会員 5,400 円（税込）

内容：離床時に麻痺側に向かって倒れてしまう Pusher 現象や Lateropulsion があると、介助が大変で、離床レベルが上がらない原因に。これらの現象の原因と病態について、脳画像や最新エビデンスから深掘りし、臨床で使える評価法やリハビリの具体策を習得します。これでもう迷わない！ 困ったケースに対するベテランの動き方を徹底習得するスペシャルプログラム

- ・何が違うの？Pusher 現象と Lateropulsion の病態・症状と原因の違い
- ・グラビセプターがポイント！自己身体定位障害の脳内処理過程とアセスメント
- ・良くなるケースと良くならないケースを見極めるための脳画像のみかた
- ・現象を客観的に評価する具体策 ～BLS・SCP・SPV ほか～
- ・ただ起こすだけのアプローチではダメ！Pusher 現象と Lateropulsion を改善に導くアプローチ
- ・傾きを正中に戻すだけではダメ！？離床と併せて行う座面調整アプローチ
- ・記憶と視覚をフル活用！重度 Lateropulsion に対する立位・歩行練習の進め方 ほか

申込み：ホームページよりオンラインで申込み

HP：<https://www.rishou.org/>

問合せ：日本離床学会事務局 TEL：03-3556-5585